

## 第2回ふれあい懇談会懇談要旨

- 開催日時 平成28年11月13日（日） 14時～16時
- 開催場所 天王台北近隣センター
- 参加者 10名
- 出席者 星野市長、日暮総務部長、大畑企画財政部長、四家市民生活部長、  
渡辺環境経済部長、大谷建設部長、渡辺都市部長 他13人

### ■懇談要旨

市民：昨年の広報あびこ4月号で掲載された、介護制度の改正と自治会の役割について伺いたい。イメージ図から、自治会は生活支援及び介護予防に名前が出ている。自治会の役割をどう周知しているか伺いたい。私の身の回りで包括ケアシステムについて役割が分からない。包括ケアシステムすら分からない。そこで、事業として位置付けているが、市の事業費はどの位計上しているのか。今、使われている事業費はいくらなのか。空き家対策にもなりますが、サロンなど作りたく希望者がいますので、そう言う事に事業費が使えないか伺いたい。

市長：介護保険制度は、昨年要支援1・2の方はすこし切り離されて市町村で運営することになった。要介護者については今までどおりです。市は今までどおり要支援1・2の方について同じ内容でサービス支援ができるようにしています。また、新たに、身体介護を必要としない訪問介護サービスをメニューに加え、実行していただく方としてシルバー人材センターが担っています。介護保険制度の負担割合は9割が市で個人は1割なので要支援1・2の方は安い家政婦的な扱いをしている方がいた。介護保険制度はきちんと研修を受けてから要支援1・2の方について生活支援をお願いしている。身体介護については、有資格者をお願いしているが、掃除、食事、買物などについては資格がなくてもできるので、シルバー人材センターをお願いしていますが、その他にもNPO法人などをお願いをしていきます。今の所自治会の方をお願いすることはありませんが、将来的にお願いすることはないとは言えないので、介護保険制度の研修を受けてからお願いしたい。包括ケアシステムは一般の人は分かりませんので、市では高齢者なんでも相談室を市内に5ヶ所設置しヒアリングをして対応して

います。

包括ケアシステムの事業費について予算上と決算上は今把握していないので、連絡先を教えていただければ、郵送させていただきます。

空き家を使うについては、市できらめきデイサービスを実施している。アパートの一室や空き家を借りて、その中で介護予防事業とセットにして様々な事業展開をしているが市内で約30ヶ所あります。これも情報提供させていただきます。

市民：介護をしているが必要経費の1割と言うが、個室等で1ヶ月37万円、2人室で26万円、18ヶ月入っていたので年450万円かかった。

介護認定者は市の人口で75歳以下約3%、75歳以上約30%になってくる。認定者が増えているので費用が掛かってくる。年間予算300億円のうち100億円くらい掛かるが、認定者が増えて来た時認定基準を厳しくしないでほしい。人数を減らして費用が掛かりませんでしたでは答えではない。介護認定をしないためにはどうしたら良いか。積極的に運動をお願いしたい。

教育について、国家公務員は海外研修をやっているが、我孫子市職員は民間企業に行くようお願いしたい。外から我孫子市を見るような考え方、企業から我孫子市を見るなどのシステムをお願いします。

市長：介護保険は、介護保険制度が始まる1年前から厚生労働省のモデル事業として我孫子市は実施しているが、今は要介護（支援）認定について、我孫子市方式を全国で実施していて、厚生労働省の職員が我孫子市に認定審査を見に来ました。我孫子市では、65歳以上の高齢化率は28%から29%近くで、75歳以上は13%17,000人です。75歳を超えると要介護が増えてきますが、要介護3以上が施設の入所基準です。4人部屋が4割、その他が個室になります。個室だと月20万円を超える。多床室は10万円を切る費用負担です。これからは29人以下の施設は造らないで、100人以上の規模の施設しか造りません。特別養護老人ホームの建設費用は市負担1億円、県負担は4億円、全体で20億円ほど掛かります。医療法人が運営している介護老健施設は最大で半年しか入所できません。我孫子市では100歳以上が50人を超えました。今後も介護予防と健康寿命をセットとして取組んで行きます。

我孫子市では民間企業への出向は今の所無いが、他の団体や他市には出向しています。また東北には今年も2人出向させています。さらに国土交通省や千葉県に1年から2年研修させるなど色々な所で半年以上出向させています。

市民：地域会議を実施しているが、昨年7月に自治会の中に地域会議を作って、1年5ヶ月たった。現在は月1回の会議を実施している。毎回5つの自治会や北口商店会、子ども達の安全を守るため教頭先生など18名が参加して色々な問題を話し合っている。

要望としては、市の備品倉庫が北口に一つもないので、一つ置いて欲しい。来年度の予算の中に入れてもらいたい。会議は一年5ヶ月たったが大変有意義な会で色々な話し合いが出来た。

市民生活部長：天王台については市内で3番目の地域会議として立ち上がり1年5ヶ月がたちました。意見だけでなく出た課題を現実的に解決して行こうと言う気持ちになってきているのを感じています。そこで何が出来るのか、地域で出来るものは地域で、地域で出来ないものは市でと考えます。今後も見守っていきたいと考えています。

市長：市の備蓄倉庫は西側では久寺家ポンプ場を使っています。東側は气象台記念公園に整備しました。天王台地区にも必要ではないかと思っています。天王台北口は青山台のポンプ場や中峠の亀田公園が広いので、この2ヶ所を天王台エリアとして検討しています。当然、小中学校は避難所として準備をしています。

市民：2020年、平成32年、4年後に東京オリンピック・パラリンピックが来る。また、市制50周年になるので、お祝いする事業をお願いしたい。国家事業として、国、千葉県、手賀沼流域7市で組織をどうやって活性化するのか聞きたい。

手賀沼浄化事業について、子ども議会でも提言として出ていましたが、手賀沼をどのように浄化するのか、手賀沼水環境保全協議会の13団体で構成しているが、手賀沼浄化を東京オリンピックまでに片付けて、手賀沼浄化が出来た暁には、東京オリンピックの参画事業に我孫子市が乗っていく。2点を重点施策としてお願いしたい。

環境経済部長：手賀沼浄化については、27年間ワーストワンでしたが平成10年

に1位からはずれた。環境省のCOD基準5.0mg/Lをクリアしていないのでクリアしようとしています。一番汚い時で28.0mg/L、現在はCOD7.6mg/Lです。汚れの一番の理由は家庭雑排水ですので下水道事業を普及いたします。ヘドロの浚渫や手賀沼清掃などで臭いがなくなった。また、トライアスロンも毎年実施している。昭和30年代に魚が食べられたので、我々は、鰻が食べられるようきれいにすることを目標にしてきた。

2020年東京オリンピックまでにはきれいにすることについては、皆さんにどのようにしたら良いか教えていただきたいです。

市民：柏市、印西市と3市で協力して県の管理ですので、知事を動かして浄化をしてもらいたい。

市長：手賀沼の浄化で一番難しいのは、27年間日本一汚かったので大量のヘドロが溜まっています。5年前の原発事故で放射能を含んでいるが、現在は水の中にあるので安全ですが、ヘドロを持って行く長期保管場所が決まっていないので、浚渫することができません。

もう一つ大きな事業として北千葉導水事業がありますが、この事業は手賀沼に利根川の水を流しているのので、手賀沼はきれいになってきた。しかし、利根川の上流群馬県はきれいですが、埼玉県は汚れているので利根川全体をきれいにしたいです。そのような中で来年にトライアスロンの世界大会を実施したい企業が出てきました。それが宣伝になるので、オリンピックではなく昔のような手賀沼にする目標をもって水質浄化を行うが4、5年では難しいです。

市民：学校のいじめ問題で、我孫子市の名前が出ないようにと思っています。教育委員会では市民との話し合いがないので教育委員会がいじめ対策でなにをするのか、まったく分からないので今回のような会議があった時は、教育委員会の出席をお願いしたい。

市長：市内ではいじめの定義が少し緩和されたので、いじめが無いとは言えない。大なり小なりあるが、深刻になる前にブレーキがかかるように学校に対して注意している。学校の中の教育委員会には報告があります。エスカレートする前に止める。また、インターネット上に裏サイトに出てくるので、教育研究所でチェックして気づいた時に止めている。最悪のケースの前に止めていく。

ふれあい懇談会は、市長部局の会議なので教育委員会は別組織で私の部下ではないので出席しろとは言えない。以前に学区の見直しをした時は同席をしていただきました。

市民：① J R 我孫子駅の改築についてお願いしたい。何年か前に話があったと思うが、我孫子市の顔として現在は良くない。また、車イスの方が駅のホームにエレベーターが無いので車で柏駅まで行って電車に乗った。近い将来を考えると駅を改修して活性ある駅舎にしてもらいたい。予算の関係もありますが、改定案が潰れた時から現在までの状況をお願いしたい。

② 我孫子駅から手賀沼公園坂通りの道路の件について、我孫子市の活性化のため、良くしようとしているがどの程度進んでいるのか教えてほしい。

市長：我孫子駅の改修は市長になった当初から実施しようと J R と協議を進めてきました。当時の改修計画はホームに降りるエレベーターをつけること。北口の通路が狭いので南口と同じ広さにすること。自由通路の改修等をする予定で交渉をしていました。駅の改修は当時事業費が 20 億円かかるのに、市民の声で J R はお金を出さないのはおかしい。J R は地元の要望のため今回はお金を出さないが必要があれば出します。市の予算で実施するうち J R は 1 億円も出さない。当時は 20 億円のうち 4 億円くらい国が出す予定でした。我孫子駅に 20 億円を出すのがもったいないと言う意見や自転車が通れないのであれば実施する必要がないと議員や一部の市民が反対していたので予算が通らない予想から白紙にしました。我孫子駅の利用者は単独で 3 万人、成田線を経由する人が 2 万人の計 5 万人いますが、20 億円が高いという市民と市議会議員がいましたので、修正案を出さないと議会が通らないので最初から出しませんでした。このような状況の中、久しぶりに市民の方々から我孫子駅の改修が出てきましたので、是非反対する市民や議員に対して皆さんからお願いをしていただきたい。市民会館も同じです。

市民：通勤客では無く観光客に対して広めたら良いと思う。

市長：観光客等関係なく反対されている。我孫子駅は我孫子の顔ですので、駅を降りて手賀沼等へ行くので重要です。

大光寺から手賀沼公園へ行く都市計画道路については、地主 1 人になりました

た。現在代替地で協議しているが、解決したら工事を行う。その後公園坂の工事です。また、開通した後、話合いで一方通行で通るようになります。

市民：電線の地中化は入っているのか。

市長：入っている。

市民：中期財政計画を実施すると10億円足りない。これは我孫子市の大きな問題です。市債について質問したい。毎年30億円くらい必要で現在の残高はどのくらいあるのか。どのくらい毎年金利があるのか。また、市債の金はどのような所から借りているのか。

企画財政部長：平成27年度末の市債残高は311億6千9百万円です。

財政課主幹：地方債の借り入れは市では自由にはできません。金利、地方債は自由に借り替えできないので公的資金の利率は国で決めています。地方債の大半は公的資金で一部市内の金融機関です。金利は平均で1%くらい。以前からの市債は借り換えできない。

市民：借金は財政規模くらい有りますが、昨年の決算では3億円くらい金利を払っている。私の提案ですが、借金を市民公募型に変更できないか。ふるさと納税などの感覚で市民から直接応募したらよいのではないか。

企画財政部長：市民公募は過去に2度市民におおばん市民債などで実施した。すぐに一杯になって募集を締め切った経緯があるが、我孫子市も色んな面でお金が必要ですので、今提案があったことを含めて具体的に検討したい。

市長：おおばん市民債はいやだった。私が市長になった時に前市長の時の市民債を元金一括で市民に返したのでいやだった。やり方を見直して検討したい。例えば市民会館を建てる時などに検討したい。

市民：市長は現場を見ていますが、部長、課長は雲の上から見るのではなく、現実を見て欲しい。

市長：前市長からふれあい懇談会を年1回実施してきましたが、私が年2回に増やしました。事業部門は現場に出るが、総務や企画、財政の管理部門は外に出ないし、現場を確認することがないので、このような場に出て市民の皆さんが何を考えどのような事に関心があるのか一緒に聞いてもらい、その上で予算編成にどのように反映できるか聞いてもらっています。